

織田信長の遺跡

(公財) 京都市埋蔵文化財研究所 柏田有香

1. はじめに

永禄 11 年（1568）、織田信長は後の室町幕府第 15 代将軍足利義昭を奉じて入京します。それ以後たびたび京都を訪れ、多くの足跡を遺しました。

京都市考古資料館文化財講座では、過去にも 2009 年に第 204 回「『本能寺の変』を調査する」、2010 年に第 213 回「織田信長と京都」というテーマで講座が開かれています。そこで、今回の講座では主に 2010 年以降の発掘調査で新たに見つかった遺構を中心に、織田信長に関連する遺跡を紹介したいと思います。

2. 旧二条城

織田信長が室町幕府第 15 代将軍足利義昭のため永禄 12 年（1569）に築城した居城です。烏丸通丸太町の交差点の北方に位置しました（図 1）。当時は「公方様御構」「公方之御城」「武家御城」などと呼ばれていたようです。築城の様子を記したポルトガル宣教師ルイス・フロイスの『日本史』には、わずか 70 日で完成したこと、吊り上げ橋のある濠をもち石垣を高く築いたこと、その石材の不足を補うため石仏や石塔を利用したことなどが記されています。また、城の面積は 3 町を占め、御殿には金銀をちりばめ、美しい庭園があったとされ、堅牢でさらに豪華絢爛であった様子がわかります。

しかし、元亀 4 年（1573）、信長と義昭の対立により、信長によって義昭方についた上京が焼き討ちされ、義昭は宇治槇島城に移ります。主を失った城は天正 4 年（1576）には解体され、その資材は築城中の近江安土城へ運ばれました。

1975 年に実施された地下鉄烏丸線敷設に伴う調査で、石垣を備えた濠跡が 4 箇所で見つかりました（図 4～8）。これにより、旧二条城が内郭と外郭の二重構造をとり、外郭は南北約 380m、内郭は南北約 160m あることがわかりました。また、石垣には多数の石仏や石塔が使用されていました。

2012 年に古代文化調査会が下立売通沿いで行った調査で、南北方向の大規模な濠跡が見つかりました（図 9・10）。規模や出土位置から旧二条城内郭の濠と考えられます。これにより、内郭の西端がほぼ確定しました。

3. 二条新御所

織田信長が、京都上洛の際の御座所とするため、天正 4 年（1576）に造営しました。烏丸通御池の交差点の北西に位置しました。それ以前は摂関家二条家の邸宅があり、「二条殿」と呼ばれていました。「二条殿」は泉と池を中心とする庭園で名を馳せ、洛中洛外図屏風にも描かれています。信長が西に隣接する妙覚寺に滞在中、その庭園を見て気に入り、二条家から譲り受けたと言われて

います。天正 7 年（1579）に正親町天皇の皇太子誠仁親王に進上したことから、「二条新御所」あるいは、御所に対して「下御所」と呼ばれるようになりました。天正 10 年（1582）の本能寺の変の際に、信長の長子信忠はこの下御所で討ち死にし、下御所も焼失しました。

2010 年に二条新御所の敷地南端で実施した調査で、蒸し風呂形式の浴室遺構が見つかりました（図 11）。この調査地の北側では、2001 年度に行われた調査で庭園遺構が見つかっており（図 13）、この風呂は、庭園を眺めながら入浴するためのものであったと考えられます。

4. 本能寺

もとは大宮通六角にありましたが、天文法華の乱（1536）により焼失し、天文 14 年（1545）西洞院通蛸薬師の交差点の北西に移建されました。元亀元年（1570）以来、織田信長が上洛の際の宿所としてたびたび利用しました。天正 10 年（1582）、「本能寺の変」が起こり、織田信長もろとも焼け落ちました。

2007 年に関西文化財調査会が敷地北東部で実施した調査で、L 字に折れ曲がる石垣を備える濠が見つかりました（図 17）。濠からは、大量の瓦などが出土しています（図 18）。2012 年にその北側で古代文化調査会が実施した調査では、その濠の延長は見つからず、間で西に曲がるとすれば、城の「出隅」のようなものがあったのではないかと推測されています（図 19）。2007 年に敷地中央部で実施された調査では、3 基の礎石据え付け穴と南北方向の溝などがみつかっています。

5. 南蛮寺

天正 4 年（1576）、イエズス会宣教師のオルガンティノーが織田信長の信任のもとに建立しました。『洛中洛外名所図扇面』に鐘楼を備えた三階建ての建物が描かれています。また、妙心寺塔頭春光院にはイエズス会の紋章と鑄造された 1577 年の年号が刻まれた南蛮寺の鐘が伝えられています。天正 15 年（1587）、豊臣秀吉によるバテレン追放令によって破却されました。本能寺の東、室町通蛸薬師の交差点の北西辺りに位置しました。

1973 年に同志社大学が実施した調査で、南蛮寺の礎石と考えられる石材が出土しています。また、2012 年に関西文化財調査会が行った調査で、南蛮寺の敷地北端を示す可能性がある溝が見つかっています。

<参考文献>

吉村 亨「織田信長と京都」『京都歴史アトラス』中央公論社 1994 年

川上 貢「摂関家二条家の押小路殿と報恩寺屋敷」『京都府埋蔵文化財論集 第 4 集』（財）京都府埋蔵文化財調査研究センター 2001 年

馬瀬智光『京の城 - 洛中洛外の城郭 - 』京都市文化市民局文化部文化財保護課 2006 年

吉川義彦『本能寺跡発掘調査報告 平安京左京四条二坊十五町』関西文化財調査会 2008 年

柏田有香『平安京左京三条三坊十町跡・烏丸御池遺跡・二条殿御池城跡』（財）京都市埋蔵文化財研究所 2010 年

財団法人京都市埋蔵文化財研究所編『京都 秀吉の時代～つちの中から～』ユニプラン 2010 年

家崎孝治『本能寺城跡－平安京左京四条二坊十五町－』古代文化調査会 2012 年

上村憲章『平安京左京一条三坊六町 旧二条城跡』古代文化調査会 2012 年

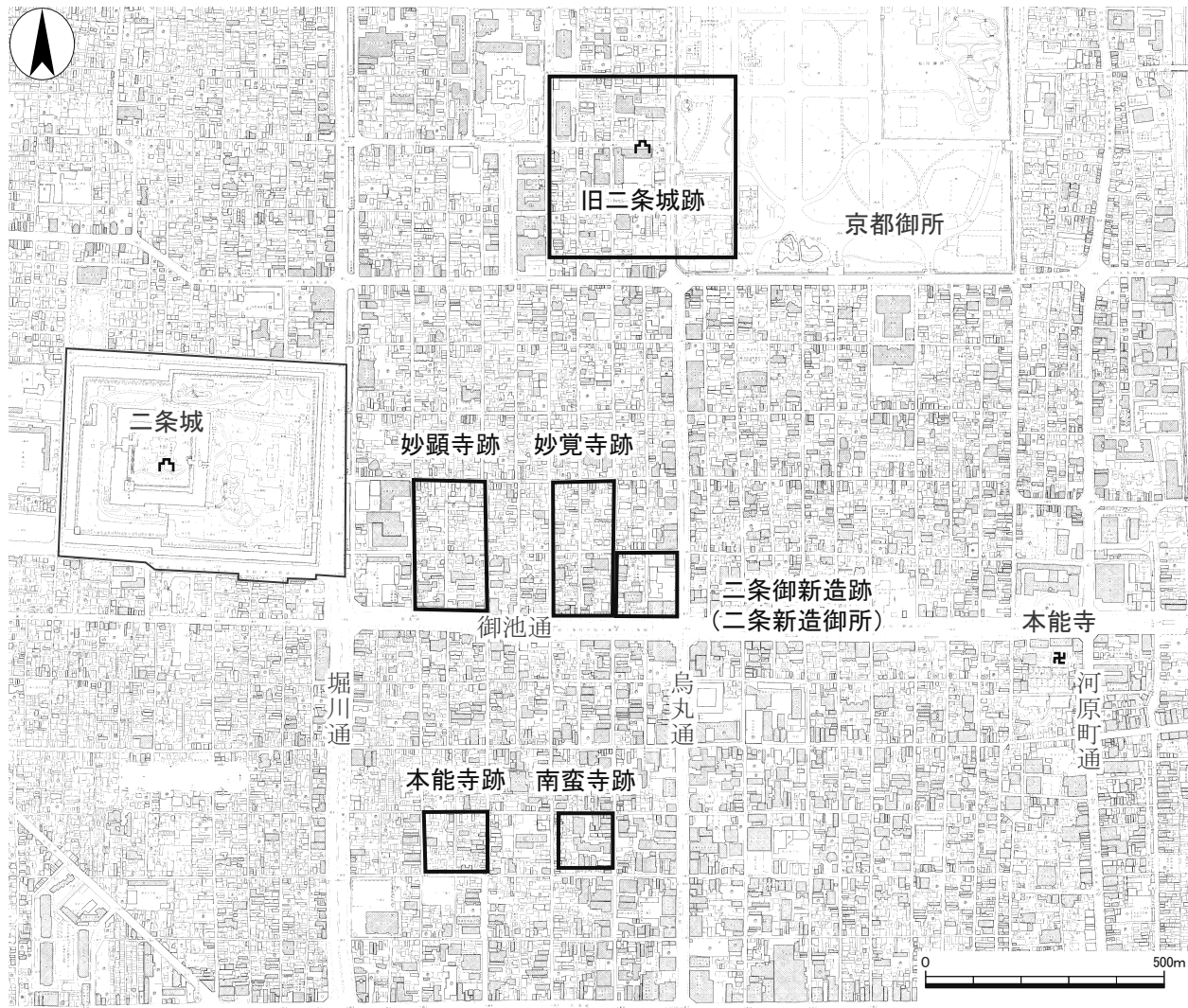


図1 京都の織田信長関連遺跡位置図(1:15,000)



図2 信長関係史跡

表1 織田信長と京都関連略年表

天文3年(1534) 織田信秀の嫡男として尾張で産まれる。
 永禄2年(1559) 上洛して将軍足利義輝に謁見する。
 永禄3年(1560) 今川義元を田楽狭間に討つ(桶狭間の戦い)。
 永禄11年(1568) 足利義昭を奉じ、上洛。
 永禄12年(1569) 三好三人衆、足利義昭を京都本圀寺にて包囲。
 足利義昭の新邸・武家御城(旧二条城)の造営に着手。

元龜元年(1570) 姉川にて朝倉・浅井連合軍と戦う(姉川の戦い)。
元龜2年(1571) 比叡山延暦寺を焼き討ち。

天正元年(1573) 上京焼討ち。
榎島合戦。
室町幕府滅亡

天正3年（1575）設楽ヶ原で武田勝頼を破る（長篠の戦い）。
京都妙覚寺で茶会を開く。千利休が茶頭をつとめる。

天正4年(1576) 旧二条城解体。
安土城築城。
石山本願寺攻撃
二条御新造を造
南蛮寺でる。

天正7年（1579）二条御新造を誠仁親王に進上（二条新御所）。

天正8年（1580）石山合戦終了。

天正9年（1581）内裏東門外で盛大な馬揃えを行う。

天正10年(1582) 本能寺の変起こる。織田信忠、二条新御所で討死。

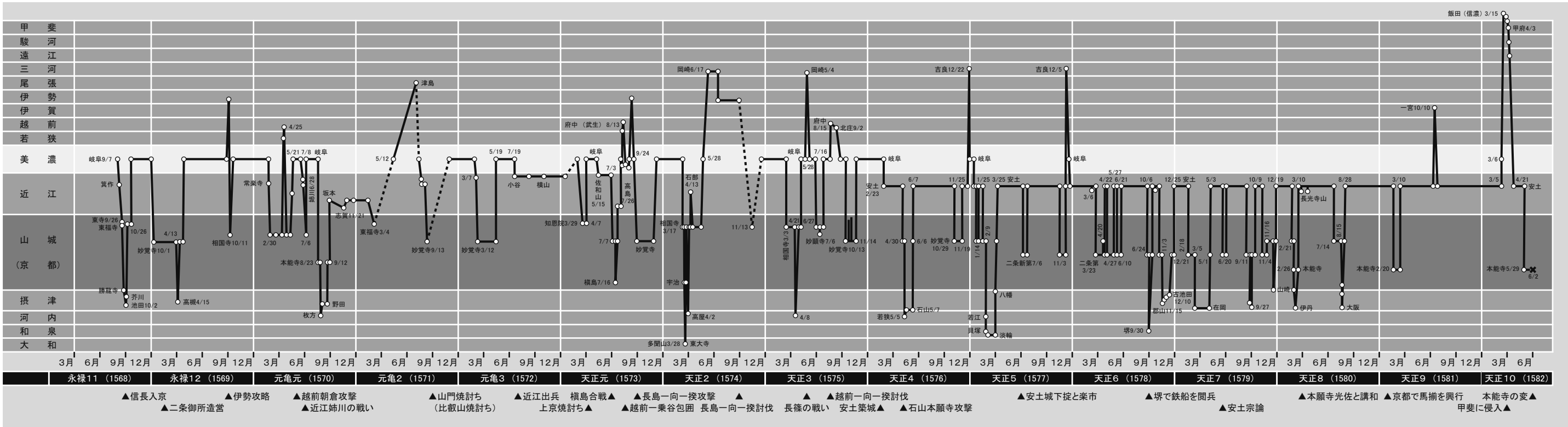


図3 入京以降の信長の行動ダイアグラム

※図2・3 (吉村 亨「織田信長と京都」『京都歴史アトラス』中央公論社 1994年より引用)

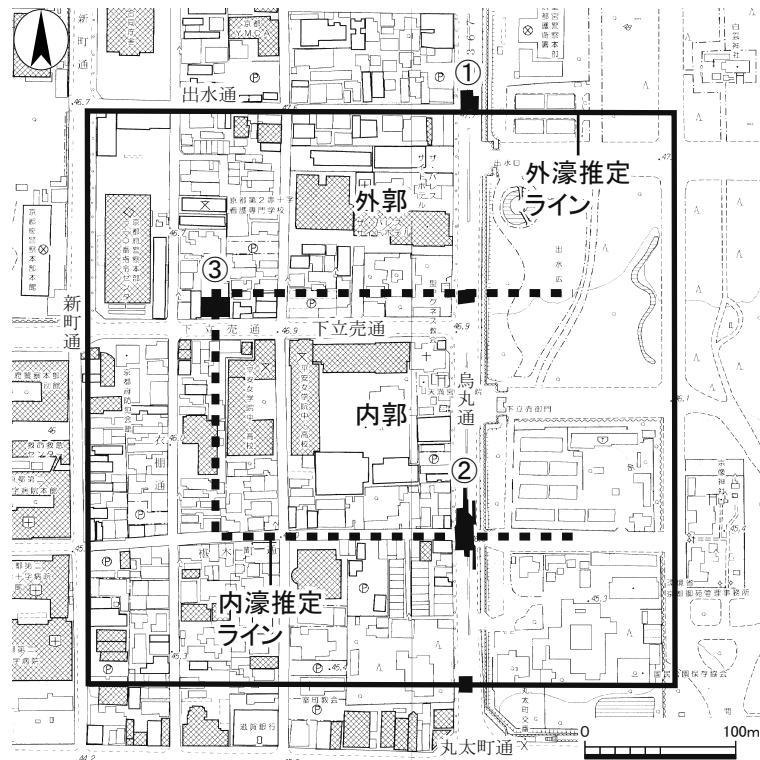


図4 旧二条城推定復元図(1:5,000)



図5 現在の二条城に移築された旧二条城石垣



図6 京都御苑に移築された旧二条城石垣

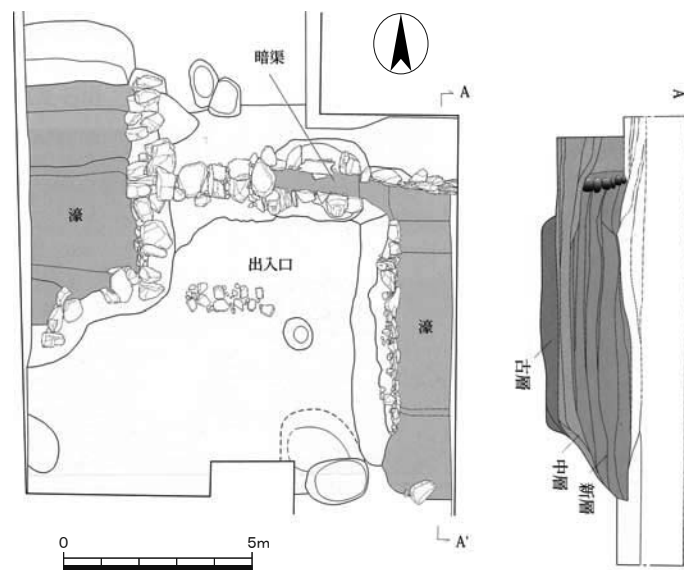


図7 調査① 旧二条城跡北外濠付近の平面・断面図(1:200)

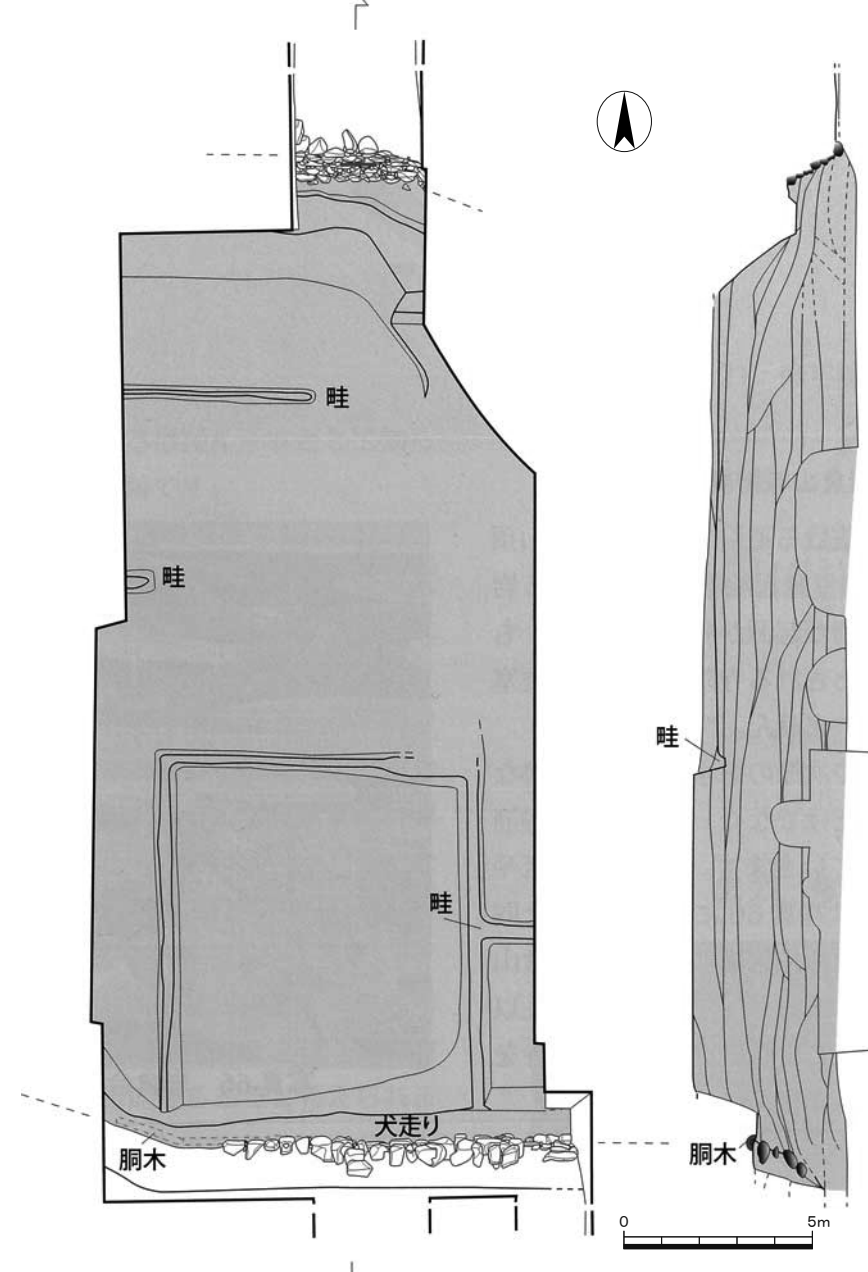


図8 調査② 旧二条城跡南内濠跡平面・断面図(1:200)

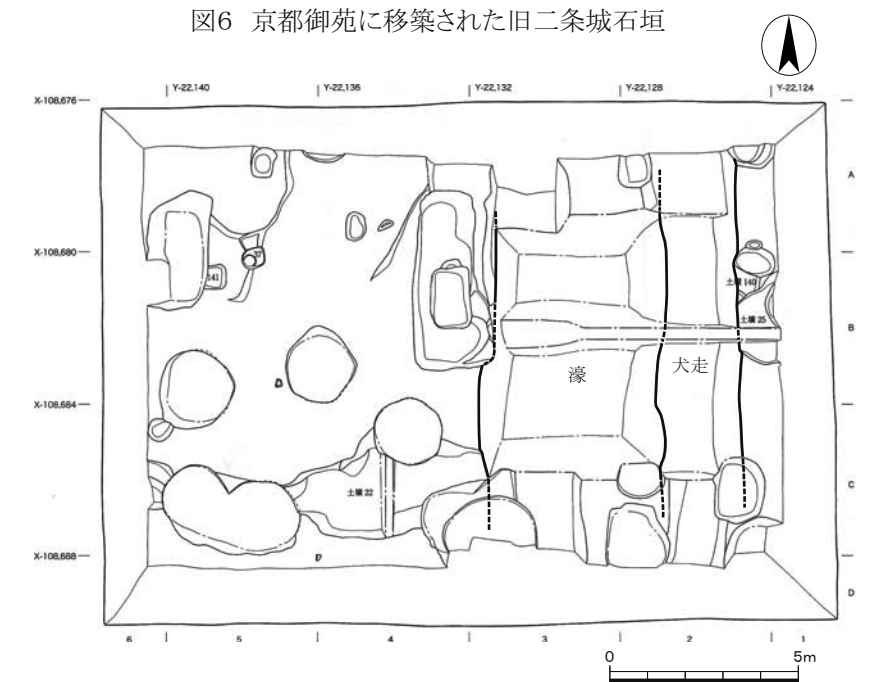


図9 調査③ 旧二条城濠平面図(1:200)



図10 調査③ 濠全景写真(北東から)

※図7・8は 馬瀬智光『京の城—洛中洛外の城郭—』京都市文化市民局文化財保護課 2006年より引用

図9・10 上村憲章『平安京左京一条三坊六町 旧二条城跡』古代文化調査会 2012年より引用、一部改変

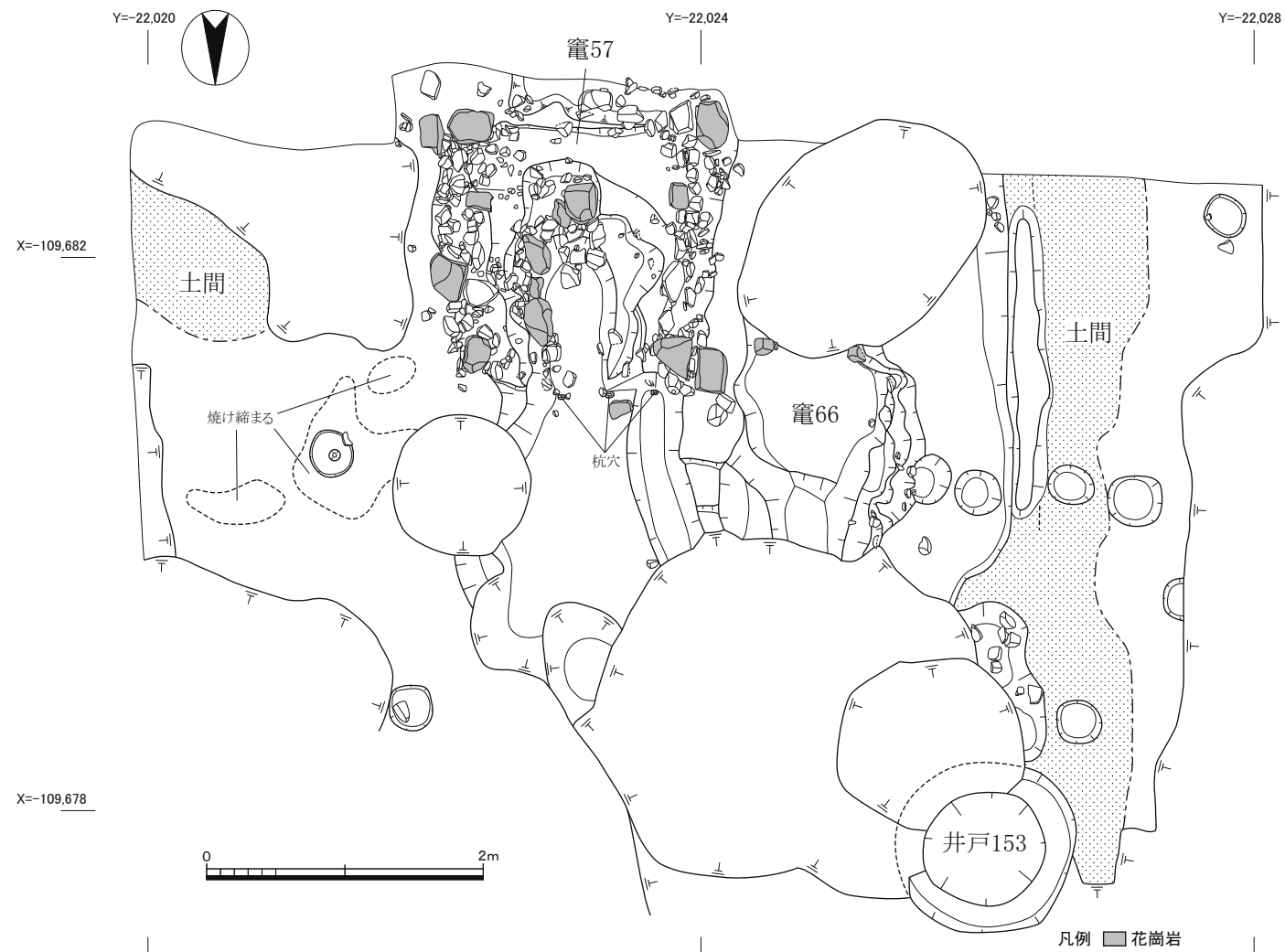


図 11 二条御新造跡浴室遺構平面図（1：50）

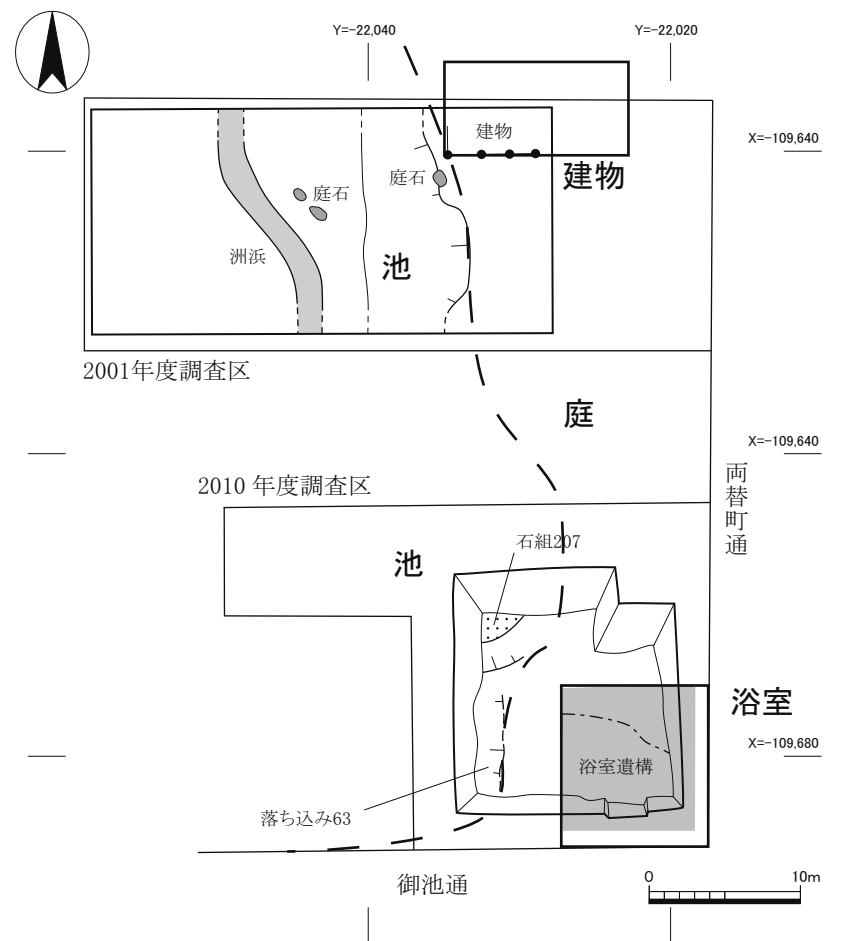
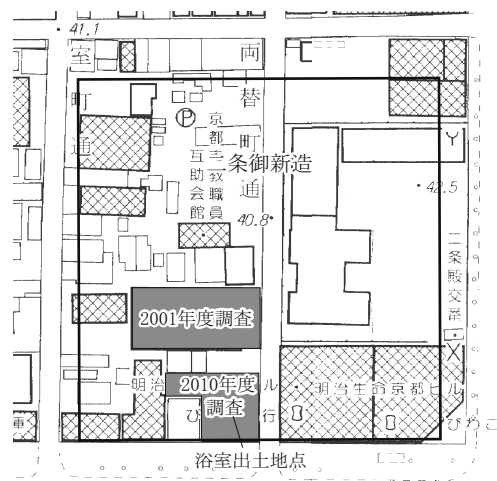


図 13 二条御新造跡遺構配置図（1：50）

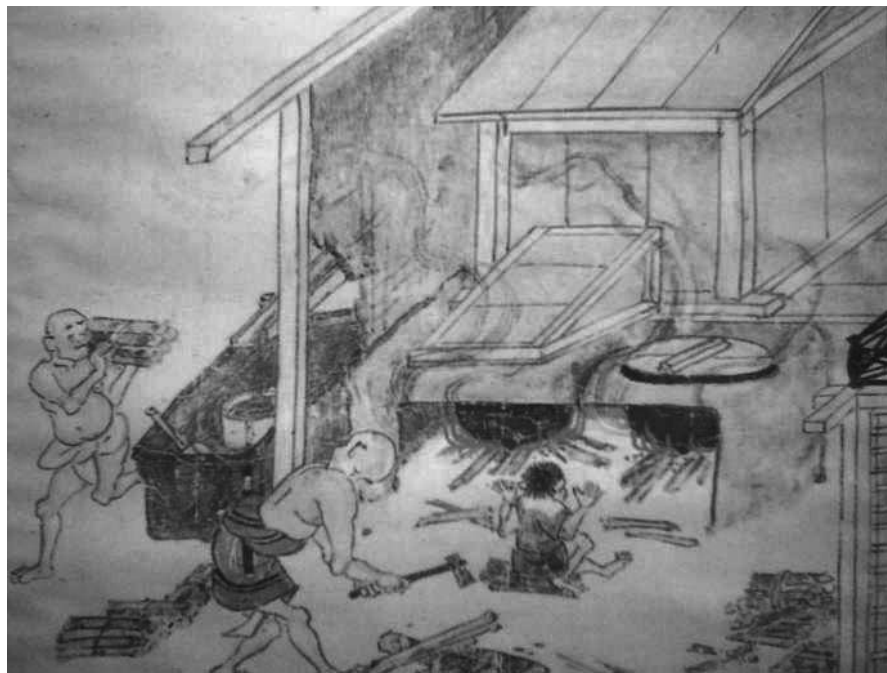


図 12 「慕婦絵詞」の中の風呂を描いた図（『続日本の絵巻9 慕婦絵詞』中央公論社 1990 年より引用）

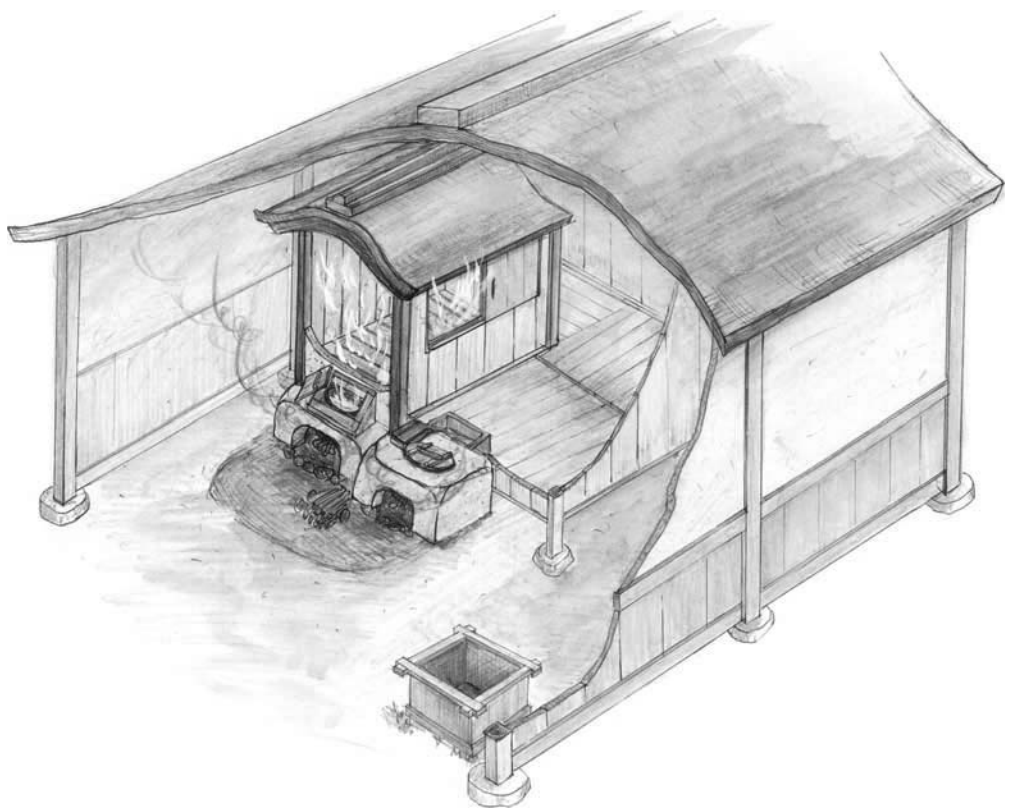


図 14 信長の浴室イメージ図

※図11・13・14は 柏田有香『平安京左京三條三坊十町跡・烏丸御池遺跡・二条殿御池城跡』（財）京都市埋蔵文化財研究所 2010年より引用

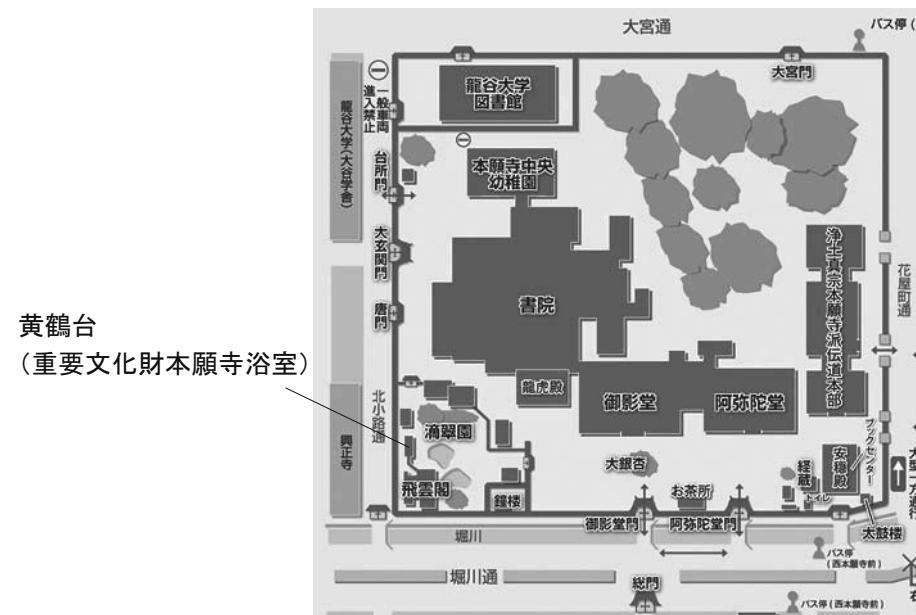


図15 西本願寺境内図と「黄鶴台」の位置
(西本願寺HPより引用)

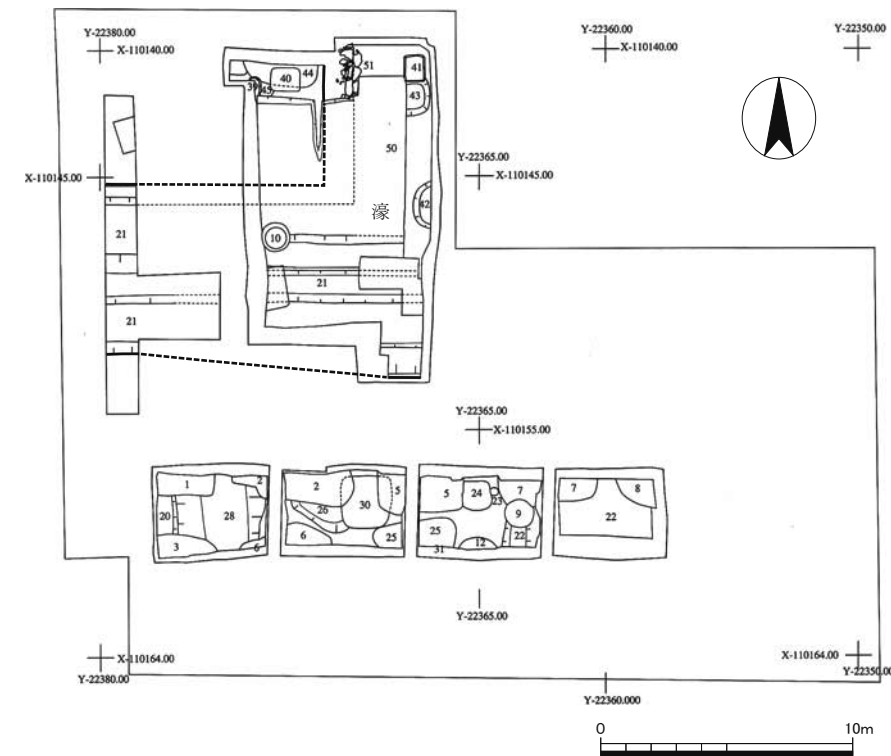


図17 本能寺跡濠平面図(1:300)

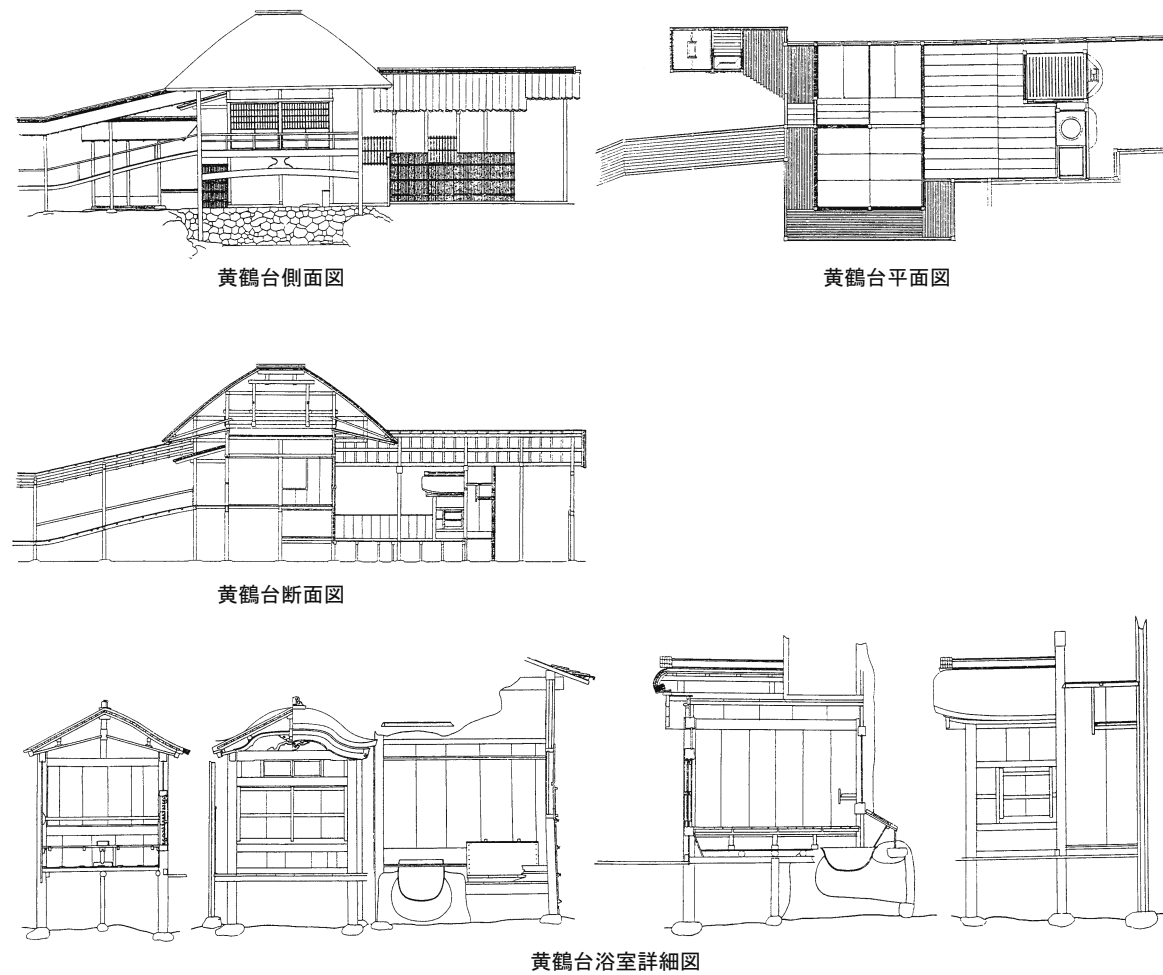


図16 「黄鶴台図」西本願寺蔵
(『國寶書院図聚9 本願寺飛雲閣 本願寺黒書院』より引用、一部改変)



図18 本能寺跡出土鬼瓦・軒丸瓦

※図17・18は 吉川義彦『本能寺跡発掘調査報告
平安京左京四条二坊十五町』関西文化財調査会 2008年より引用、一部改変

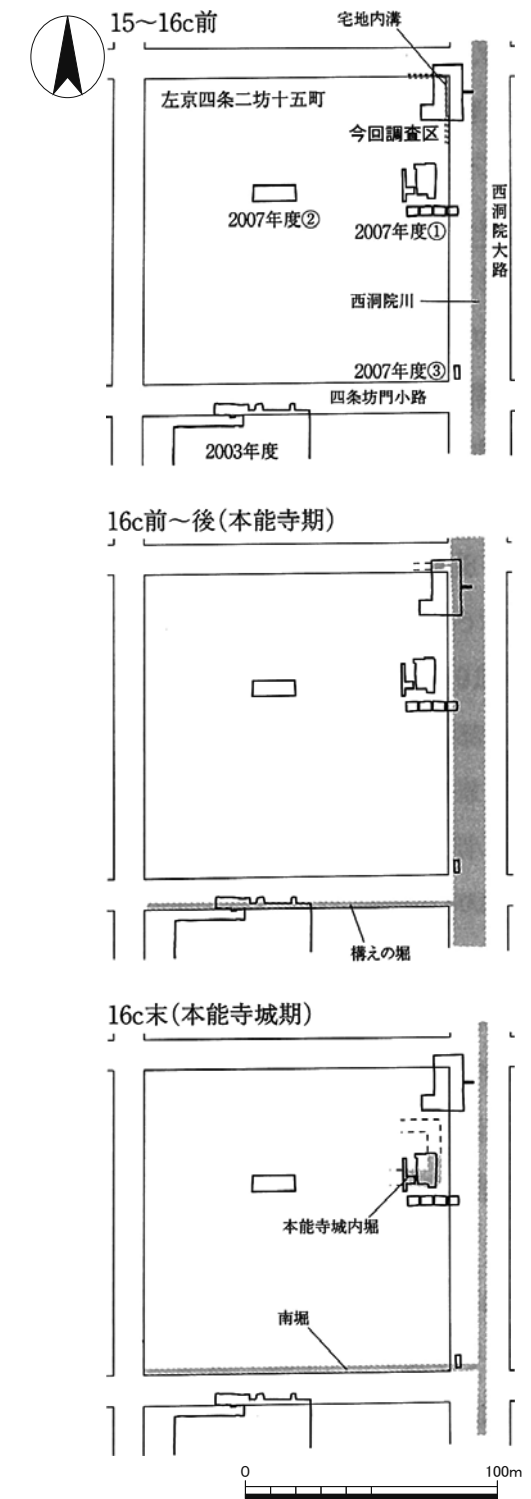


図19 本能寺跡遺構変遷図(1:3,000)

(家崎孝治『本能寺城跡－平安京左京四条二坊十五町－』古代文化調査会 2012年より引用)